

◎授業の様子から ～ Part 1 ～

3学期の授業観察を行っています。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組ん

■1月23日(水) 3校時 理科:佐本先生 1-1

めあては「水への溶け方は物質によって違うことを理解する。溶け方が温度によって違うことを確かめる」でした。「プリントを活用して」という先生の声掛けに反応して、実験前の注意を各自プリントにメモして、各班で実験を始めました。既習事項の「火成岩のでき方」も思い出しながら考察するよう先生からの助言もありました。顕微鏡をのぞく姿は真剣そのものでした。



■1月25日(金) 3校時 保体:柳田先生 2-12

めあては、バスケットボールで「スクリーンプレーをゲームで使おう」でした。スクリーンプレーのやり方を学び、グループでアドバイスし合いながら練習し、授業の後半でゲームを行いました。学んだプレーを使おうとしている生徒もいましたが、実際にゲームとなるとボールを追いかけてしまう生徒も多く、使えるようになるにはまだまだ練習が必要だと思いました。生徒の実態に合わせた課題設定の難しさを改めて感じました。



■1月24日(木) 2校時 数学:尾串先生 3-3

学年の生徒から集めた「東京2020で新規採用された競技についてのアンケート調査」の結果を使い、「無作為抽出を意識して標本調査をする」のめあてで学習しました。「どう標本を選ぶか」については、グループで話し合い活動を行いました。自分たちのデータを用いていたので、標本調査を身近に感じられたでしょう。丁度、厚生労働省の統計調査が話題になっている時期でした。標本調査の落とし穴について理解できたと思います。



■1月28日(月) 3校時 社会:山田先生 3-2

めあては「持続可能な社会を目指す国際社会の取組みと個人としてできることは何かを提言する」でした。個人作業の後、グループで発表会を行って代表者を決め、各班の代表者による集団討論(パレティカ)を行いました。都立推薦入試でも集団討論が行われていますが、代表生徒は堂々と自分の意見を述べ、互いに質疑応答をし合い、考えを深めました。オブザーバーの生徒たちも討論の様子を真剣に聞きながら考えを深めていました。



■1月24日(木) 3校時 数学:中嶋先生 1-12

めあては「75°の作図方法を考え、その手順をわかりやすく説明する」でした。事前に考えてきた生徒も多く、様々な作図方法を見つけることができ、グループで発表し合ったり、全体で共有したりしました。基本作図をどう組み合わせるのか、それぞれに工夫したことを伝えあうことで、自分では考えつかなかった友達の考えを知り、数学の楽しさを感じることができた、発展クラスならではの授業でした。



■1月29日(火) 2校時 社会:菅野先生 1-3

めあては、「なぜモンゴル軍は日本に攻めてきたのかを考え話し合おう。蒙古襲来はどのような戦いだったのかを考えてまとめよう」でした。課題①は3つの資料(地図・手紙・記録)から、課題②は絵図を見て読み解くことが求められました。リーディングスキル(RS)を高める授業展開です。社会科は覚える教科と捉えられがちでしたが、思考力や判断力を高める授業になってきたなあと感じました。宿題は「蒙古襲来について100字程度でまとめる」です。



でありますが、「めあて」を持ち、ペアやグループでの協働学習が日常的に行われるようになっていきます。ICTを使うことも定着し、「書く」「話す」などのアウトプットの場面が増えてきました。

■1月29日(火)3校時 保体:野崎先生 1-12

めあては、バレーボールで「ルールを理解し、チーム内で協力し合いながらゲームを行う」でした。基本技能のオーバーハンドパス・アンダーハンドパスは、ペアでアドバイスし合うことで、注意点を意識して技能の向上を図っていました。ゲームでは、声を出してチームのムードを高め、楽しく取り組むことができました。体育委員を中心にきびきびと動いて、今後の成長がとても楽しみです。



■2月6日(水)1校時 英語:井先生 1-4

めあては「いつできるかをたずねよう」でした。When can you ~? の問いに対して、I can ~ in the morning. など、思い思いの時間帯を答えることができました。ペアワークもしっかりと行い、Reading、Listening、Speaking、Writingにもテンポよく取り組み、4技能を高めました。字を丁寧に書ける生徒が多かったです。もっと大きな声を出せるといいですね。



■2月5日(火)3校時 理科:高橋先生 2-1

電流と磁界の単元の最初の授業。めあては「磁力の特徴や磁力が働く空間の様子を調べよう」でした。棒磁石の磁界の向きを学習した後、「U字型磁石の周りの磁界を予想する」という課題が出ました。ホワイトボードに各班で考えた予想を書いてもらいました。学んだことを使って考えを広げていくことで思考力を高めま



■2月6日(水)4校時 美術:佐藤先生 3-3

都立一次入試の出願日でしたが、4校時にはほぼそろっての授業になりました。「ハイライト表現を使い立体感を出す。描く・検討する・修正を繰り返すことで画力向上。質感の表現の習得」をねらいとし、3年間の集大成として「栗の絵の模写」に取り組みました。黙々と集中して真剣に取り組む姿は、とても感動的でした。質感まで見事に表現している生徒もあり、3年間の美術の授業の成果を感じることができました。



■2月5日(火)4校時 保体:蓮見先生 1-34

ダンスの2時間目。めあては「新聞紙を使って「ひとながれ」で作品をつくる」でした。前回のDKW(ダンスキーワード):ダイナミックに加えて、「ひとながれ」=はじめ・なか・おわりを意識して二人組で作品づくりに取り組みました。新聞紙の動きに合わせて体を動かしたり、話し合いながら動きを確かめたりして、笑顔で授業を楽しんでいる様子がとても良かったです。表現することの楽しさを感じてほしいです。



■2月7日(木)2校時 保体:吉川先生 3-34

3年生女子の保健「感染症の予防」の授業。丁度、インフルエンザが流行している時期なので、学んだことが日常生活にそのまま生かせる授業でした。「マスクは何のため?」の問いには、感染予防だけでなく、今どきの女子ならではの答えも出され、教室の雰囲気も少し和んでいました。保健便りでも取り上げられている話題ですから、教科や領域との連携を取ることで、学習を深めていくことができると思います。学びを生活に生かす!

